



平成 31 年 3 月 1 日  
平 塚 市  
青 少 年 指 導 員  
連 絡 協 議 会

カラー版のダウンロードや、  
平塚市青少年指導員については  
二次元コードから



私は平成31年平塚市成人式実行委員長を務めさせていただきました。今年度の実行委員は4人と、例年に比べ、少人数であったと思います。また、私自身も遠方に住んでいたり、他のメンバーも学校や仕事、バイトなど様々な活動で忙しい中での成人式の企画、運営は大変苦労した場面もありました。

しかし、その中でも新成人の皆さんに楽しんでいただけて、思い出に残る成人式にしたいという4人の共通の思いを達成するべく試行錯誤してきました。

まず、アトラクションについては、昨年に見てまとまったので、そのことを踏まえて、その他の企画を進めていきました。

決められた予算の中で、どれだけ企画を削ることなく、みんなに楽しんでもらえるものが作れるのか、実行委員会ではたくさん考えました。



そこで、抽選会は地域のお店の方々に協力いただき、協賛品を募ることができ、ステージ装飾も東海大学生の方々のご協力で、素敵なステージをご用意していただきました。ハタチパスでも沢山のお店に参加していただいたりと、今年度の成人式は地域の方々に支えられて実現したものだと感じます。

また、ビデオレターでは4人で学校を

回らなければならなかったり、何をすることも負担が大きい部分が目立ちましたが、多忙の中、沢山の学校やお店に回り、様々な面で支えてくれたメンバーには、とても感謝しています。それだけでなく、たった8ヶ月という短い間でしたが素敵な出会いに恵まれたと思います。

更に当日は青少年指導員の皆さんを始め、多くの人にお手伝いいただき、大きな問題もなく、天候にも恵まれ、平成最後に相応しい素晴らしい成人式になったと感じております。

20歳を迎えるにあたり、このような貴重な経験をさせてくださいました事を感謝するとともに、大人の仲間入りをした事を自覚し、日々精進してまいりますと思います。ありがとうございます。

以上





成人式実行委員として活動した約8ヶ月の間で、私は様々な経験を積むことができました。また実行委員会を通じて、一大学生では関われない方々ともお会いし、多くのことを学びました。その中でも強く印象に残り、今後の人生に生かしていきたいと感じたのは以下の2点です。

まず、「大人とは何か？」ということについて大変考えさせられました。実行委員会を通して大人とは、単純に歳を重ねるだけでは成り得ないものなのだということを実感したり、実行委員会を通じて関わって下さった多くの方々から尊敬できる点や、こうはなりたくないなどという像を得られました。

特に印象に残っていることは意見の伝え方についてです。私は自分の意見を伝える際に、つい感情的になってしまったり、相手の意見に対する敬意を払わない発言をしてしまいがちですが、これらは相手に自分の意見を聞くという気持ち

を削ぎかねない行為だと気づかされました。これからは自分が話す時の態度や言葉選び、場の雰囲気もみて発言していきたいです。



次にメモを取ることの重要性です。運営してきた「大人」の方々へ一度話したことを再度尋ねられたり、再三お願いしたことを覚えておらず、相手方が覚えていなかったため重ねてお願いすることが度々あり、メモを取ることの重要性が分かりました。メモを取るということは一見自分のためにする行為ですが、相

手に迷惑をかけたか、余計な手間を取らせないためにも、重要なことであると深く考えさせられました。実行委員会ですら自分の記憶力に頼らず必要な生活でも自分の記憶力に頼らざるを得ないことはメモを取る習慣をつけて、社会人になった際に困らないようにしたいと思えます。

このように私は成人式実行委員会を通じて多くのことを学び、成長することができたと思います。これは実行委員として、今までお世話になった方々のお陰です。ありがとうございました。

以上



みなさん、こんにちは。  
私の名前は、藤川良人です。良い人と書いて、「りょうと」と呼びます。



1月14日の月曜日の成人式に成人式実行委員として、参加させていただいたことで、多くの貴重な経験をする事ができました。ありがとうございました。

成人式実行委員会の募集の話が、新聞の記事に載っていたのを見て、どんなことをするのも分からないまま、応募をしました。

成人式実行委員会の副委員長を務め、成人式の企画のため出来る限りの事をしました。

この企画に参加した理由は、成人式当日の終わりの挨拶の時に言いましたが、同じ20歳を迎える仲間たちのために、いい成人式をつくりたい！という思いと、私も20歳を迎える一つの挑戦をしたい！という思いから参加させて頂きました。

この挑戦が終わり、次の目標をまた新たに掲げ、自分の将来に繋げていきたいと思えます。その目標は何事にも慌てず、常に前を向いて、言葉を上手く使いなが

ら、楽しく生きていくことです。4つの文字で例えると、人生言声(じんせいげんせい)です。

私は、成人式実行委員会に関わる事ができて、すごく楽しかったです。20歳の次の挑戦を、頑張つていきます。

以上



成人式実行委員会を通して、成人式はたくさんの方の協力によって成り立っていることを、身を以て実感することが

きました。

また、成人式実行委員会をすることにより20歳への意識が強まり、自分の将来について、それから私の思う「大人」について考えるようになりました。

自分を支えてくれる周りの人への感謝の気持ちは常日頃感じておりますが、それを返していけるような人間になりたいと強く思います。今までは何かを「してもら」側でしたが、これからは「する」側となって、周りの人、社会に恩返しをしていこうと思います。

この1年間、成人式実行委員の一員として、とても貴重な体験をさせていただきました。

しかし、正直に申し上げますと、成人式実行委員での活動は大変なことも多かったです。

まず、実行委員が今年度は4人しかいなかったため、仕事量が半端ではありませんでした。とくにビデオレターの準備では、中学校を5校周ることになり本当に忙しかったです。

私は普段大学が遠く、中々平日は実行委員に時間を割く事ができませんでした。そのため、ない時間をどうやりくりしたら、うまく行くのかを考える良いきっかけになりました。

私以外の実行委員もそれぞれ事情があり、他の人の仕事をカバーすることもありましたが、それが皆で何かを作ることだと学ぶことができました。



また私は、デザインを学んでいるので、成人式のパンフレットの制作を担当させていただきました。普段自分じゃ気付けないことなど、たくさんのことを学ぶことができ、とてもいい勉強になりました。

準備が大変だったり、勉強させていだいたり、貴重な体験をすることができた成人式は、いつまで経っても忘れるこ

とはないと思います。

最後になりますが、青少年課の田口さん、奥脇さん、大変お世話になりました。最初はフレンドリーな距離感や連絡手段に驚きましたが、私たち実行委員の意見を尊重しつつ、たくさんサポートして頂いたこと、感謝しております。

以上





日時：平成31年1月14日(月・祝)  
午前10時40分～12時30分

会場：トツケイセキユリテイ  
平塚総合体育館

内容：

オープニング「疾風乱舞」

第1部「式典」

・開式の言葉

西山 ひなの 成人式実行委員長

・主催者あいさつ

落合 克宏 平塚市長

・来賓祝辞

山原 栄一 平塚市議会議長

第2部「アトラクション」

・恩師からのビデオレター

・祝！成人「お笑いライブ」

(アイデンティティ、もりせいじゅ)

・抽選会

結果：

《新成人対象者数》2,673人

《参加者数》1,797人

《参加率》67.22%

(昨年) 69.28%



今年も28地区の代表に、《総合案内》《誘導・巡回》《ステージ警備》のグループに分かれて、成人式への御協力をいただきました。大変ありがとうございました。

《事務局》



平成最後の成人式が1月14日(月)晴天のもと、トツケイセキユリテイ平塚総合体育館で行われました。

本年度の新成人<sup>2,673</sup>名のうち、<sup>1,797</sup>名の参加があり、皆様方晴ればれとした顔付き、満面の笑みを浮かべていました。これからの長い人生、一生懸命に努力して駆け抜けてほしいと思います。

あとわずかです。平成も終わります。4月からは新年度がスタートします。5月には元号も変わります。「第51回平塚市子ども大会」が各地で開催される予定です。

我々、青少年指導員320名みんなで力を合わせて地域活動に協力、参加して行くことはありませんか。1年間よろしくお願いたします。  
つながり！元氣！感動！笑顔がつくる明日の平塚！……！

豊田地区 伊東 多恵子



【広報委員会】

委員長	なでしこ地区	田邊 貴也
委員	花水地区	安永 典史
旭地区	田代 信子	
豊田地区	伊東 多恵子	
神田地区	土屋 裕之	
金田地区	青木 一規	
真土地区	石井 康仁	
松が丘地区	柳瀬 克則	
松延地区	伊川 眞理	
事務局	青少年課	三春 雄太
		東海林 拓也